

一般質問の要旨



タクシー利用補助券の利用促進について

加藤 将伍

問 タクシー券は、500円

チケット1回1枚の利用制限がある。一度に複数枚利用できれば、外出しやすく、友人と会う機会も増え、生き生きとした生活につながるが、利用者の増加に向けた制度見直しに対する見解は。

答 より市民のおかけで協会の創出につながるよう、制度の在り方等について今後検討していく。

問 申請手続きの簡略化、スムーズな補助券交付に向けた方策は。

答 離れて暮らす親族等による代理手続きが可能となる電子申請による手続きを速やかに対応する。

問 市民の交通手段の役割を担う「地域おたすけ隊」との連携は。

答 地域公共交通を賄ううえで重要な移動手段の一つ。日高市社会福祉協議会と意見交換しており、今後も身近な移動支

援者として連携を図る。

市内新交通システムの導入に対する見解について

問 市民の安心、安全のための市内新交通システム」の確立の第一歩が、日高市独自の「地域公共交通計画」を策定する「法定協議会」の設置である

と考える。区長会からも協議会設立の要望書が出されているが、設置に対する見解と進捗は。

答 地域のニーズや課題を把握し、住民や利用者、交通事業者、学識経験者、関係機関との合意形成を図り、法定協議会設置に向け取り組んでいく。

問 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の「その他の地方公共団体が必要と認める者」の判断基準を含め、構成員の選定に関する見解は。

答 法定協議会の構成員は、法の趣旨に則り、本

市の課題に対応できるよう、国・県、近隣市の他、市民参加の観点から地域の代表、福祉関係者、商業関係者等が考えられる。

第32回日高市民まつり花火大会開催について

問 開催日時及び規模は。

答 11月11日午後6時より、3千発を打ち上げ予定。

問 花火大会終了後の公共交通機関の増便等対策は。

答 市民まつり当日、無料臨時バスを運行。花火大会の時間帯に合わせ増便、運行時間延長にて対応。

市民の安心・安全のための公共交通の取り組み



带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

三木 伸也

問 日本人成人の90%以上

に帯状疱疹の原因となるウイルスが潜んでいる。50歳を境に発症率が急激に上昇、80歳までに約3人に1人が帯状疱疹になるとの統計である。病を未然に防ぐために帯状疱疹ワクチン接種費用の助成の考えは。

答 国はワクチンの定期予防接種化を検討、接種費用の助成を行う自治体も増えている。市民が健康で生き生きとした生活を送ることができ、環境整備の一環として、財源確保を含め、実施に向け検討したい。

道

問 道の駅は「まち」の特産物や観光資源を活かし「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生み出す活性化により人口流出を止め、関係人口の増加が見込める。道の駅の誘致についての見解は。

答 開設には市内の主要幹線道路に広大な面積の確保が必要。休憩機能、情報発信機能、地域連携機能が必要で、建設に多額の費用を要する。設置は大変困難である。

公民館使用料について

問 令和4年10月から公民館使用料が原則有料化。経過措置として令和7年3月31日まで使用料の50%を減額としている。仲間と交流を深め、向上を目指し、生きがいのある充実した生活が送れるようになるサークル活動市民コメントには「免除していただけていること

が大きい」や「利用料発生となると、サークルが活動出来なくなる」とある。登録サークル数の増減など状況は。

答 令和2年度336団体、令和3年度306団体、令和4年度292団体、令和5年度293団体。数年減少傾向にあったが、1団体の増加に転じた。前年度減少27団体、新規登録28団体。前々年度は減少31団体、増加17団体で、使用料改定後との差は今のところ見られない。



助成金が望まれるワクチン接種費